

優良賞

せたな町立瀬棚中学校 3学年 ^{たかはし}高橋 ^{あんな}杏奈
挑戦を自信に変えて



あなたは「挑戦」という言葉を聞いて、どのようなイメージをもちますか。私の場合、「失敗」、「不安」というイメージが大きくありました。そのため、小学校のときから、周りから言われて何かに取り組むことはあっても、自分からすすんで物事に取り組むことは、あまりありませんでした。「自分うまくできるのかな。」「失敗をバカにされたらどうしよう。」「失敗して恥ずかしい思いをするなら、最初から行動しない方がいいのかな。」と、不安な気持ちが強くなってしまい、なかなか積極的になれないことがほとんどでした。

しかし、そんな私の考えを変えるきっかけになる出来事がありました。それは、生徒会役員に立候補したことです。

自分でも、「そろそろ積極的にならなければ、将来自分が困る」ということに気づき、考えるようになっていました。この先、高校生や大人になって社会に出たときは、自分から行動していかなければならないのに、このままでは何もできずに終わってしまう。そう感じていました。

中学校の生徒会活動に対し、入学前は、仕事も難しく、楽しいことより大変なことが多いというイメージがありました。でも、運動会や文化祭などで先輩方の生徒会活動を見ていると、とても楽しそうに明るく活動していました。そして、大きな行事を自分たちが中心となり作り上げていく姿に、「生徒会の仕事も楽しそうだな。かっこいいし、やりがいがありそう。」と思うようになりました。

立候補の時も「私に、しっかり仕事をこなすことはできるのかな。」「そもそも当選できるのかな。」などという不安がとても強くありました。それでも立候補を決めたのは、その不安よりも、「やってみたい」「自分を変えたい」という気持ちの方が大きくなっていったからです。これは、私自身が初めて自分で決めた、大きな挑戦でした。

立候補したことを家族や先輩に話すと、たくさん応援してくれました。この出来事があったから自信がつき、今は部活動の部長や生徒会副会長として楽しく活動しています。

もちろん、今でも、不安に負けそうになったり、悪い方へと考えてしまうことは少なくはありません。そして、今まで挑戦してきたことが全て成功したわけではありません。でも、失敗を重ねていくにつれ、「上手くいかなかったとしても、それはそれで自分らしいな。」と考えたり、失敗の原因を考えることで、自分自身と向き合うことができるということ気がつくことができました。

私が生徒会役員に立候補したのは、小学生のときまでの自分を、ほんの少しだけでも変えられたらと思ったからと話しましたが、思っていたよりももっと、ものの考え方や行動などたくさん変わったことがありました。あのとき、自信がないなか勇気を出して本当によかったと思っています。

私は、これからも挑戦することを続けたいと思っています。そして、たとえ満足できない結果だったとしても、挑戦できたことを自信に変え、次の挑戦につなげていく、そんな自分をこれからも目指していきたいと思っています。